

# オプトアウト

千葉市立青葉病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、お問い合わせ下さい。

研究課題(研究番号)	側方侵入椎体間固定術の合併症のデータベース構築に関する研究
当院の研究責任者(所属)	茂手木 博之(整形外科)
多施設共同研究の場合、主たる研究機関および研究責任者(所属)	日本脊椎脊髄病学会 研究代表者 中村雅也(慶應義塾大学・整形外科)
研究の目的	脊椎手術の低侵襲化による新たな手技の導入に伴い様々な合併症が報告されており、國民にとってより安全術式として普及していくためには継続的な全国調査が必要です。本研究の目的は、側方侵入椎体間固定術の手術件数および合併症の発生頻度とその内訳を明らかにすることである。
対象となる調査期間	2017年1月1日より2022年12月31日まで
対象となる患者様	上記期間に当院で側方侵入椎体間固定術を行った患者様
使用する情報、試料等([○]の項目を利用します)	[ ]血液、[ ]唾液、[ ]毛髪、[ ]病理組織、[ ]排泄物(尿・便)、 [○]診療記録、[○]臨床検査データ、 [○]その他(空白に記載) 単純X線、CT、MRIなどの画像データ
研究期間	2019年2月から2022年12月まで
情報や試料の他の研究機関への提供およびその方法	個人情報を削除した上で、上記情報を日本脊椎脊髄病学会へ提供します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所などの患者様を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表される予定ですが、その際にも患者様を特定できる個人情報は利用しません。
備考	診療情報や試料等を研究目的に利用されることを希望されない場合でも、診療上不利益な取り扱いを受けることはありません。

申請日 2019年12月13日

入力者 茂手木 博之

終了日

入力者

試験が終了したら、上記を入力の上事務局までご連絡下さい  
HP掲載を終了します。